

2012年12月期 第2四半期
(1月～6月)

決算説明会



銘柄コード 9384 (東証二部)



内外トランスライン株式会社

I. 会社概要と事業内容



外航海運利用運送業 (NVOCC)

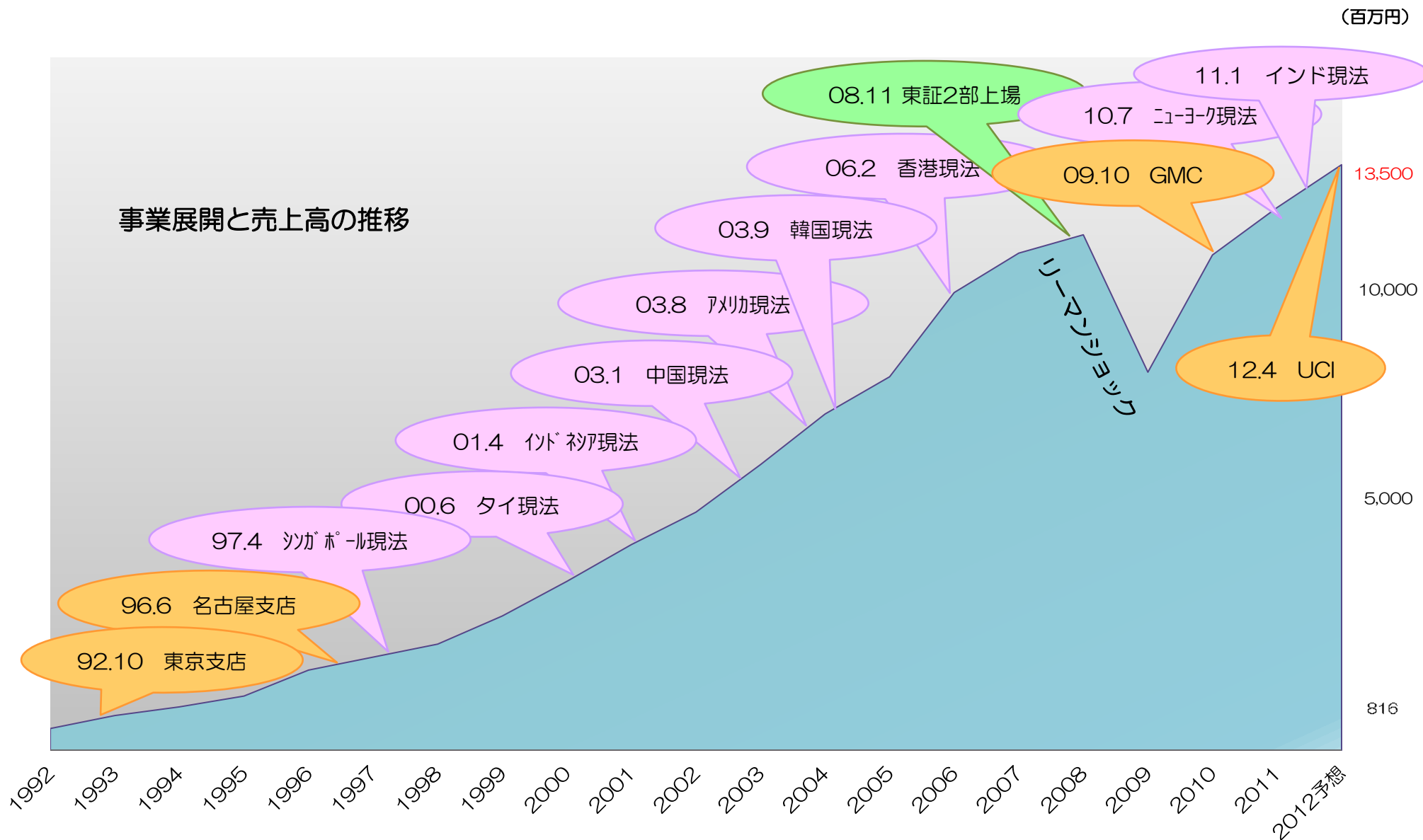
Non-Vessel Operating Common Carrier

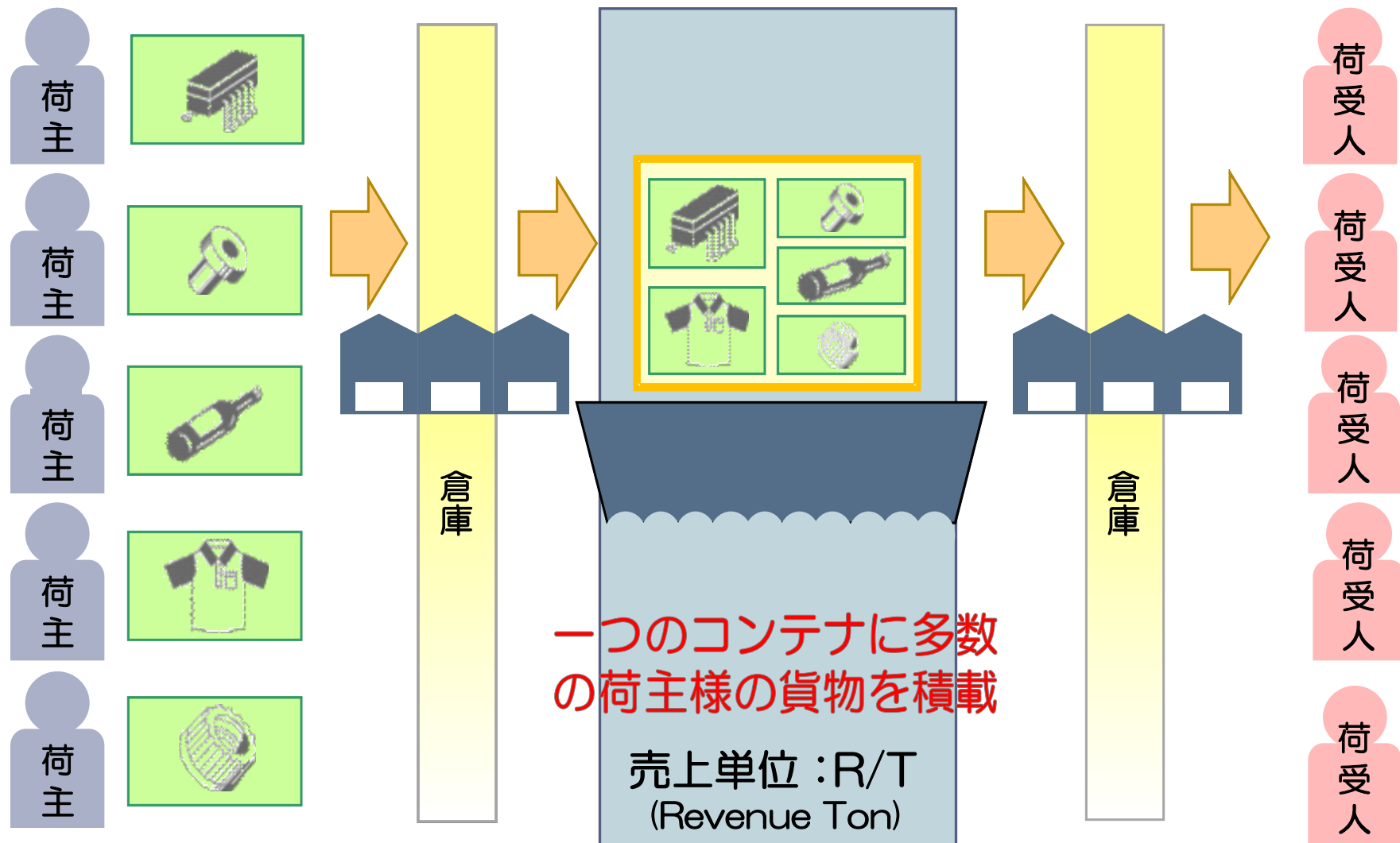
わたしたちは、お客さまに**最適・最速の輸送サービス**を提供する国際海上輸送の**プロ**です。

NVOCCとは

船舶を所有せず、船会社のスペース（船腹）を借りて利用し、お客さまの貨物を海上輸送する事業者を指します。

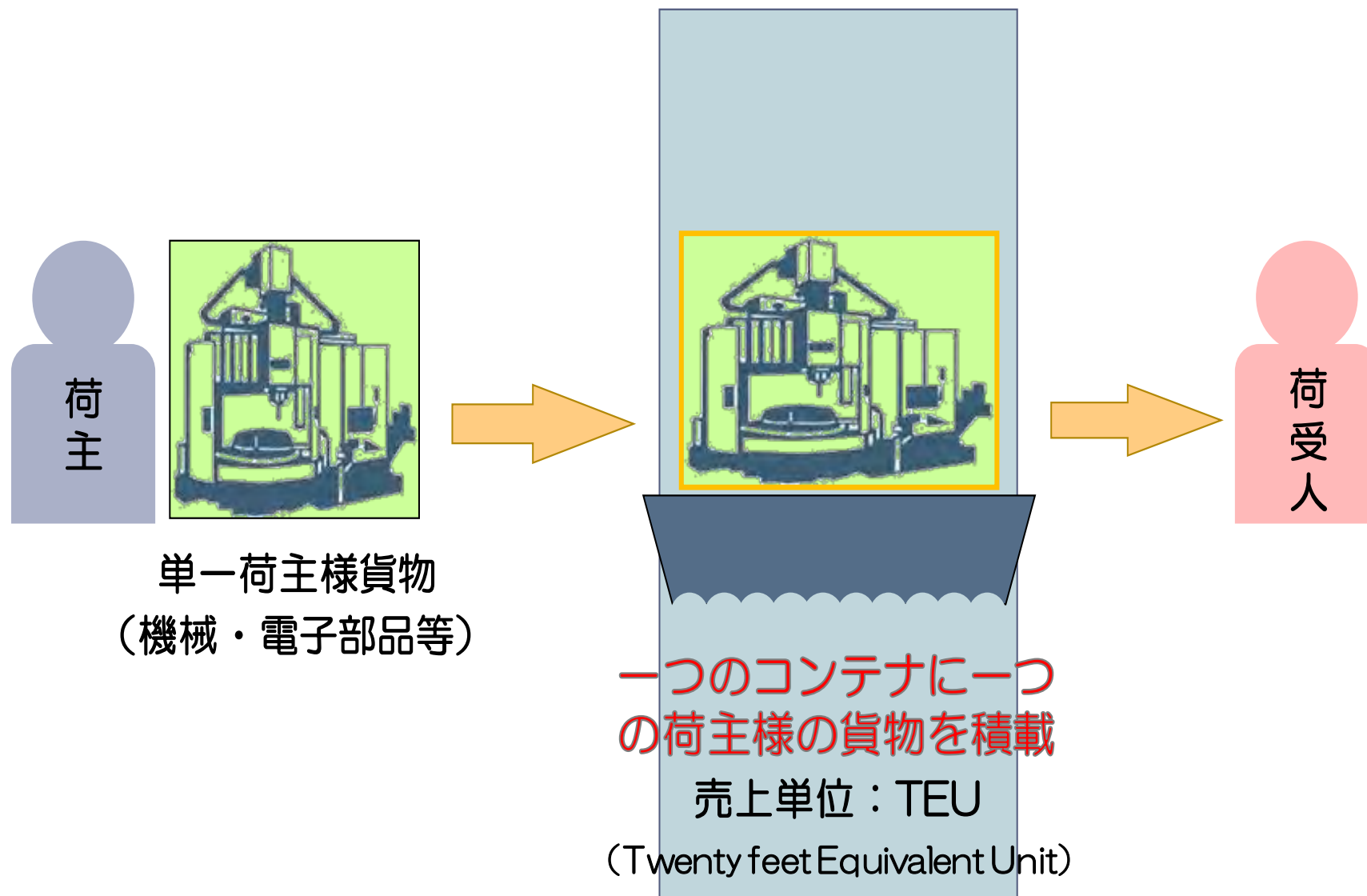
社 名	内外トランスライン株式会社
設 立	1980年5月1日
代表取締役社長	戸田 徹
本 社 所 在 地	大阪府中央区安土町3丁目5番12号
資 本 金	2億2,532万円（2012年6月末現在）
従 業 員 数	466人（連結 2012年6月末現在）
事 業 内 容	貨物利用運送事業(外航海運・国際航空) 海空陸複合一貫輸送、陸上運送取次業、海運代理店業、 通関業、損害保険代理店業
銘 柄 コ ー ド	9384（東証二部）





■ フルコンテナ輸送 (FCL)

NAIGAI TRANS LINES



空 運



海 運



陸 運



当社は独立系、ノン・アセットの運輸事業者です

NVOCC

国際海上輸送を核事業としている

船舶・コンテナは保有していない

輸出混載輸送で国内屈指の高シェア

世界へ向けての豊富な運航スケジュール

他社に優る高品質サービス

国際総合フレイトフォワードナーをめざす

Ⅱ. 第2四半期決算の概要



■ 連結第2四半期決算の概要（対前年）



単位：百万円

	当年第1 四半期	当年第2 四半期	当年第2 四半期累計	前年第2 四半期累計	対前年 増減額	対前年 増減率(%)
売上高	2,981	3,503	6,484	6,203	281	4.5
売上総利益	952	1,089	2,042	1,974	67	3.4
営業利益	219	263	483	541	△ 58	△ 10.7
経常利益	248	272	521	499	21	4.3
四半期純利益	148	165	313	289	24	8.6
1株当たり 当期純利益(円)	28.30	31.64	59.93	55.59	4.34	7.8

【決算概要】

1. 売上高 単体は前年とほぼ同額、グループ会社が14.4%増で前年同期比4.5%増となった。
2. 営業利益 売上原価率が0.3ポイント増、販管費が人件費を中心に8.8%増加したため営業利益は10.7%減少した。
3. 純利益 営業外損益で79百万円、特別損益で13百万円改善、純利益は8.6%増となった。

■ 損益計算書対前年増減要因（1）



単位：百万円

	当年 第2四半期 累計	前年 第2四半期 実績	対前年増減額	対前年増減要因	増減額
売上高	6,484	6,203	281	・ 単体 0.1%減 ・ 海外グループ会社 5.1%増 ・ 国内グループ会社 158.4%増	△5 89 197
売上原価	4,442	4,229	213	・ 単体原価率 0.8ポイント減 ・ 海外グループ原価率 1.5ポイント増 ・ 国内グループ原価率 6.7ポイント増	△38 88 163
売上総利益	2,042	1,974	67	・ 単体 ・ 海外グループ ・ 国内グループ	33 1 33
販管費	1,559	1,433	125	・ 人件費の増加 11.4%増 単体46 海外18 国内36 ・ 経費の増加 4.5%増 単体14 海外△7 国内18	100 25
営業利益	483	541	△58	・ 単体 ・ 海外グループ ・ 国内グループ	△27 △10 △21

■ 損益計算書対前年増減要因 (2)

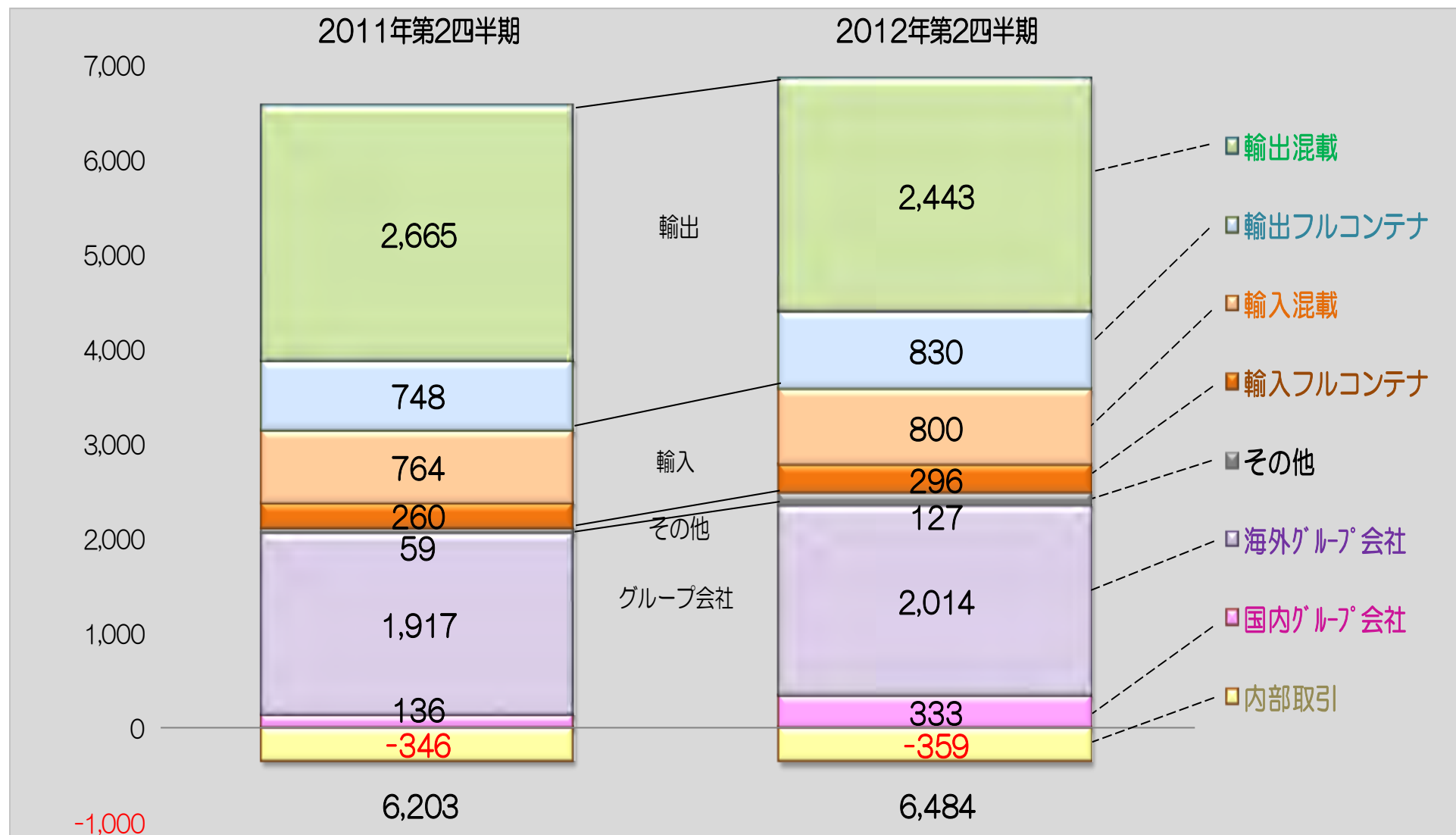


単位：百万円

	当年 第2四半期 累計	前年 第2四半期 実績	対前年増減額	対前年増減要因	増減額
営業外収益	53	33	19	・ 消費税見積計上引戻 ・ 為替差益	12 5
営業外費用	15	75	△60	・ 支払手数料の減少 (M&A関連) ・ 為替差損	△47 △6
経常利益	521	499	21		
特別利益	—	—	—		
特別損失	1	14	△13	・ 資産除去債務償却費減少	△12
税金等調整前 純利益	519	485	34		
法人税等	205	196	9		
四半期純利益	313	289	24		

■ 連結売上高の増減内訳（対前年）

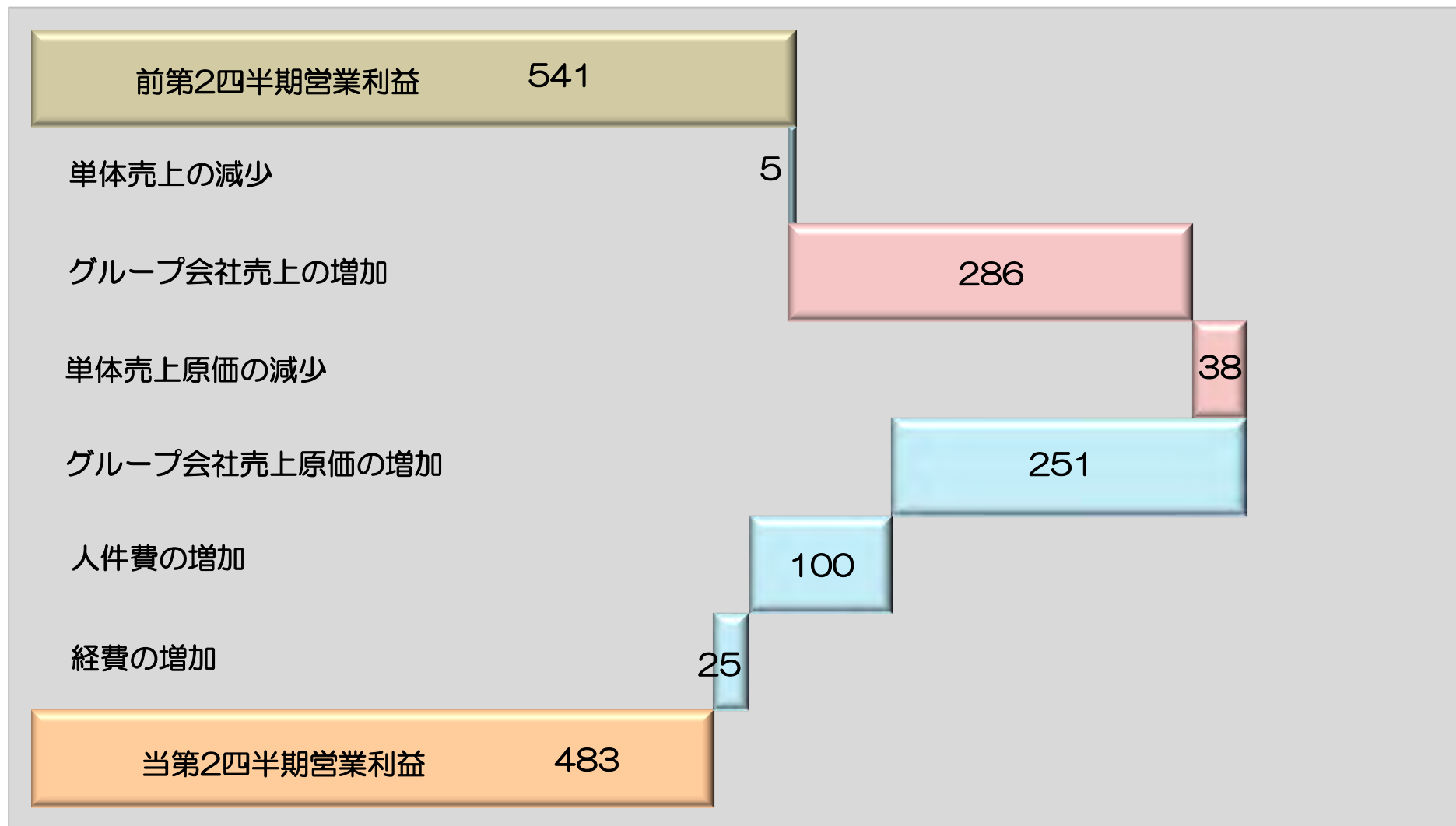
単位：百万円



■ 連結営業利益の増減要因（対前年）



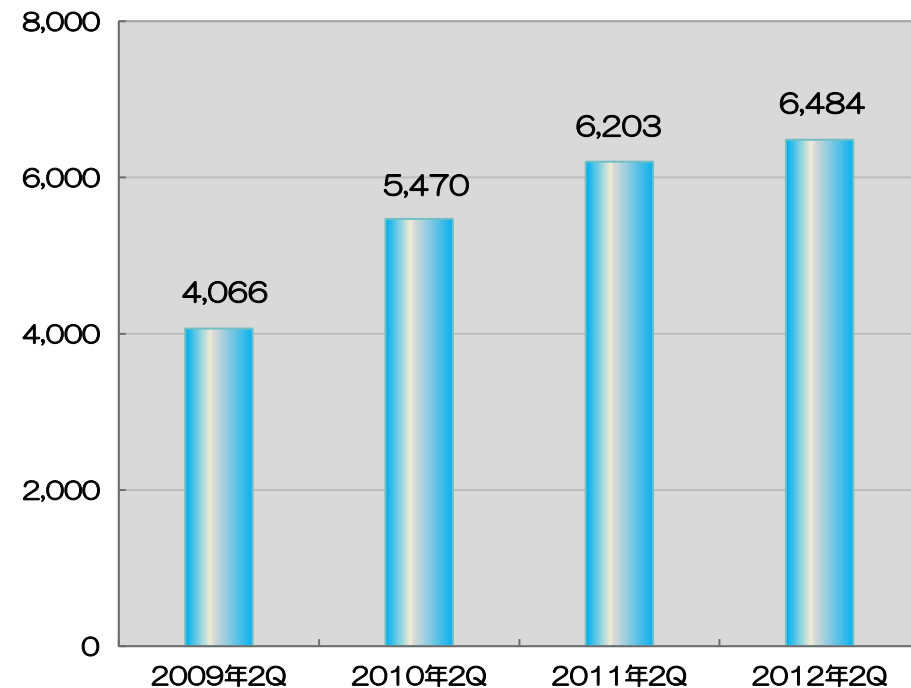
単位：百万円



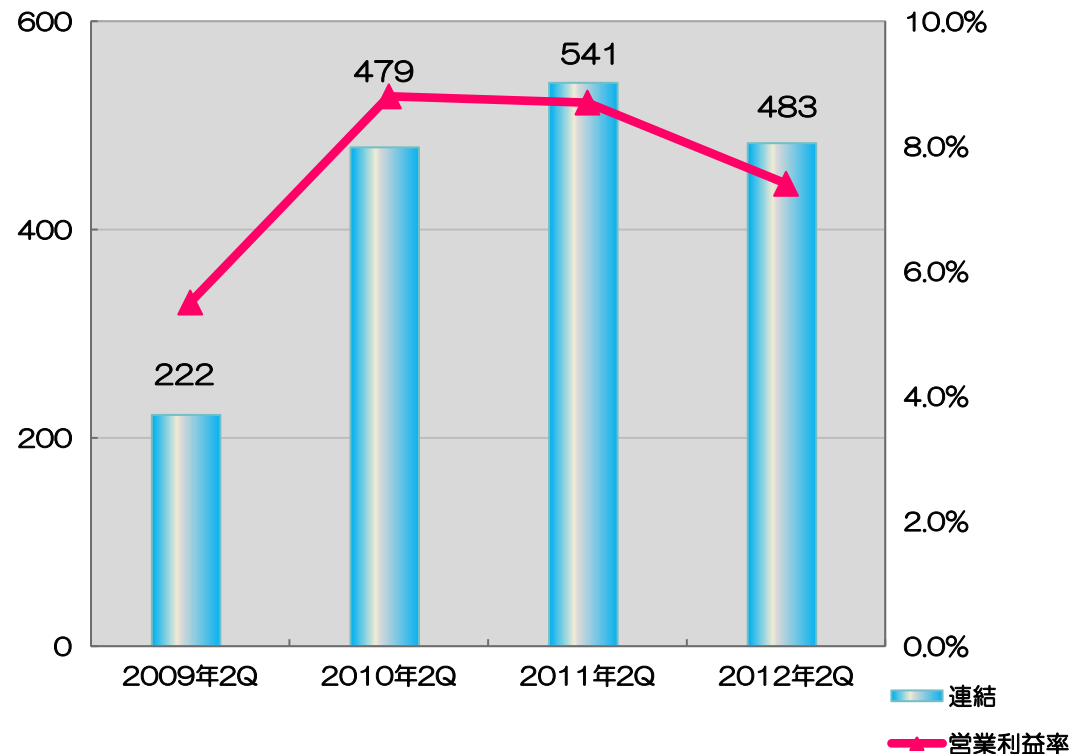
第2四半期 累計売上高・累計営業利益

(単位：百万円)

売上高



営業利益



- 売上高は '11年比4.5%増加し、4期連続増収を維持したが
- 営業利益は '11年比10.7%減少した
- 営業利益率は前年を1.3ポイント下回り7.4%となった

■ 貸借対照表の概要

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	当年第2 四半期末	前年度 1 2月末	増減額	主な増減要因	増減額
流動資産	4,551	4,573	△ 21	・ 現金及び預金の減少 ・ 売掛金の増加	△ 146 204
固定資産	2,197	1,752	445	・ 無形資産（のれん）の増加 ・ 投資その他の資産の増加	207 225
資産合計	6,749	6,326	423		
流動負債	1,190	1,029	160	・ 買掛金の増加 ・ 短期借入金の減少 ・ 未払法人税等の増加	130 △ 67 45
固定負債	258	255	3		
負債合計	1,449	1,285	163		
純資産合計	5,300	5,040	259	・ 利益剰余金の増加 ・ 為替換算調整勘定	235 11
負債純資産合計	6,749	6,326	423		

■ キャッシュ・フローの概要

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	前年第2四半期	当年第2四半期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	309	355	45
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 482	△ 269	213
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 48	△ 223	△ 174
現金及び現金同等物の残高	3,362	3,427	65

キャッシュ・フロー当第2四半期の概要

営業活動 資金の増加（当四半期純利益の計上519百万円、減価償却費71百万円）

資金の減少（売上債権増加45百万円、法人税等の支出163百万円）

投資活動 資金の増加（定期預金払戻63百万円）

資金の減少（子会社株式の取得315百万円）

財務活動 資金の減少（借入金の返済149百万円、配当金支払79百万円）

結果、現金及び現金同等物の残高は前年同期に比べ65百万円増加した。

■ セグメント別の概要

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

セグメント 売上高	前年第2四半期		当年第2四半期		増減額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
日 本	4,631	71.1	4,819	70.9	188	4.1
海 外	1,880	28.9	1,981	29.1	100	5.4
連結調整	△308	—	△316	—	△8	—
合計	6,203	100.0	6,484	100.0	281	4.5

セグメント 利益 (営業利益)	前年第2四半期		当年第2四半期		増減額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
日 本	389	69.0	340	66.8	△49	△12.6
海 外	175	31.0	169	33.2	△5	△3.3
合計	564	100.0	510	100.0	△54	△9.7

*当社は「日本」及び「海外」を報告セグメントとしている

*セグメント利益（営業利益）はのれん償却額等調整後利益

Ⅲ. 中期経営計画戦略課題の進捗状況



2011~2013
中期経営計画

NTL Next Stage
—アジアから世界へ—

売上目標



利益目標

営業利益率
10%以上

輸出混載
を
基軸に

売上構成の
質的変革と
拡大
(積極的M&A)

グローバ
ルネット
ワークの
完成

人材への
投資と育成

国際総合フレート
フォワードへ

1. 輸入営業の拡大・首都圏営業の拡大

- ① 輸入営業の拡大
売上高前年比 **6.7%増**
- ② 首都圏での営業拡大が徐々に浸透

2. 国際総合フレイトフォワードをめざして

- ① フォワーディングビジネス、プロジェクト貨物
売上高前年比 **55.6%増**
- ② 航空輸送事業への進出と拡大
UCI社買収 (2012年4月)

3. グローバルネットワークの充実

- ① グループシザーの期待できる海外拠点の増設準備
中国、ミャンマー等
- ② 積極的な提携、M&A

2012年4月より連結子会社に

会社概要

- ・ 本 社 大阪市中央区
- ・ 事業所 大阪・大阪南港・東京・成田（予定）
- ・ 資本金 50百万円（当社100%出資）
- ・ 事業内容 国際航空及び海上貨物輸送業

買収の狙い

- ・ 国際総合フレイトフォワーダーをめざすため、航空貨物輸送業進出の新拠点とする

UCIの戦略

- ・ Door to Doorの一貫輸送を中心とする航空・海上輸送を展開する
- ・ 既存当社海外現法との連携により海外を中心とした航空輸送を拡大する
- ・ 当社航空事業部との連携による事業拡大

IV. 通期計画



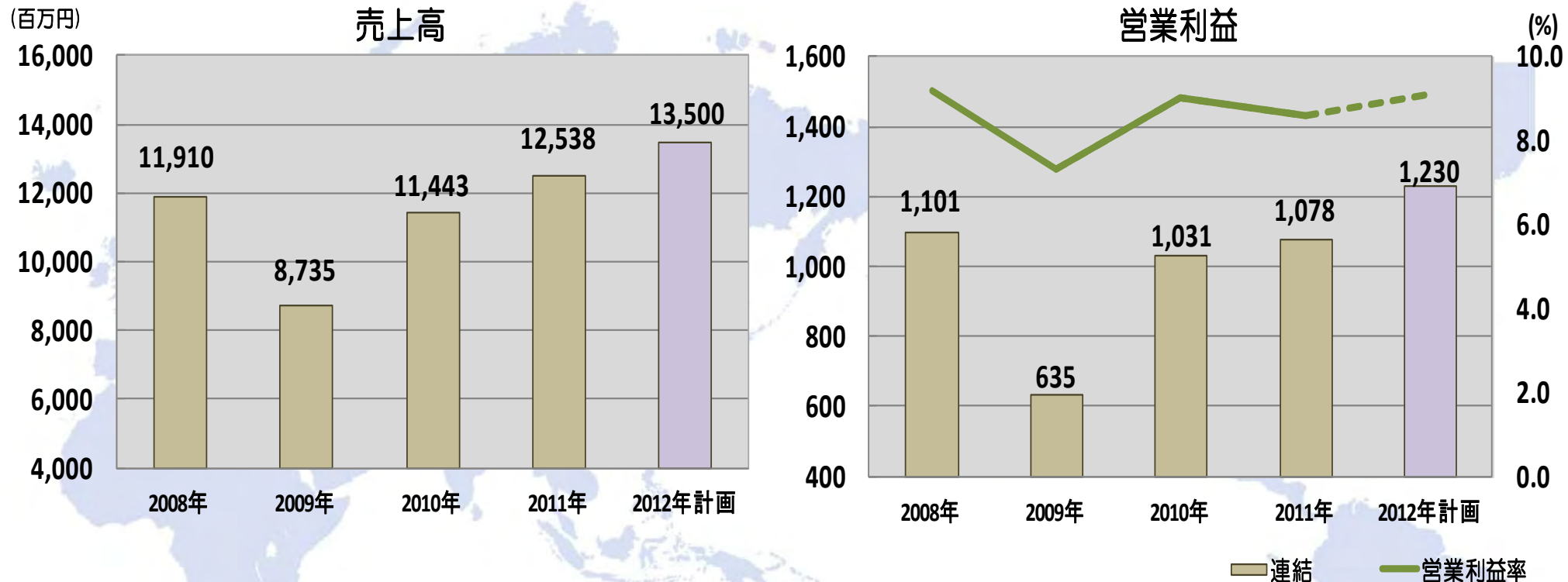
単位：百万円

連 結	第2四半期累計 実績	第3/第4四半期 計画	通期計画	前年 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売 上 高	6,484	7,016	13,500	12,538	962	7.7
営 業 利 益	483	747	1,230	1,078	152	14.0
経 常 利 益	521	709	1,230	1,046	184	17.6
純 利 益	313	467	780	568	212	37.2
1株当たり 当期純利益(円)	59.93	88.86	148.79	109.16	39.63	36.3

【通期見込概要】

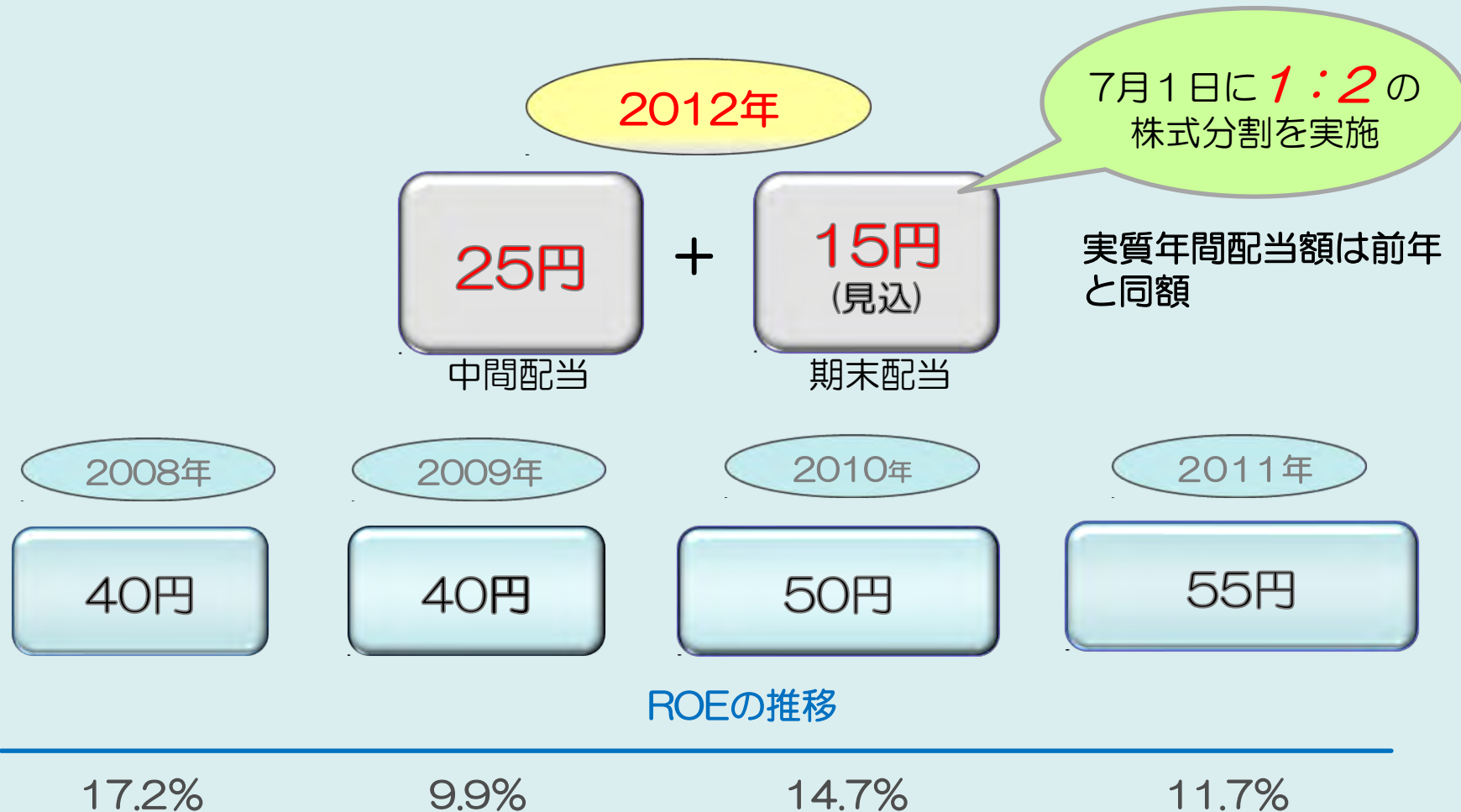
1. 売上高 日本経済が緩やかな持ち直し状況にある中、諸施策を効果的に実施し、通期売上高は対前年7.7%増（下期売上高は対前年実績比10.8%増）を達成する計画
2. 営業利益 運賃上昇懸念はあるが売上原価は計画と大きな差異なく推移する見込、販管費も節減に努め、営業利益は14.0%増（営業利益率9.1%）の計画

売上高と営業利益の推移と計画



- 売上高は下期、単体の復調、グループ会社の拡販により通期でも4期連続増収、135億円をめざす。
- 営業利益においても 前年実績を上回る増益を確保すべく努力

一株当たり配当の推移



ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

連絡先

取締役経営企画部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。

參考資料



参1 連結四半期決算の概要（対予算）



単位：百万円

	第2四半期実績	年 予 初 算	対予算 増減金額	対予算 増減率(%)
売上高	6,484	6,470	14	0.2
営業利益	483	542	△59	△10.9
経常利益	521	530	△9	△1.7
四半期純利益	313	320	△6	△1.9
1株当たり 当期純利益(円)	59.93	61.45	△1.52	△2.5

【予算差異概要】

1. 売上高 UCI社の加入はあったが増加は14百万円にとどまった。（UCI社298百万円）
2. 営業利益 売上原価率はほぼ予算と一致、販管費73百万円増により59百万円減となった。
3. 経常利益 営業外収益の増加はあったが、対予算9百万円減となった。
4. 純利益 特別損益の改善はあったが、営業利益の減少をカバーできず対予算6百万円減となった。

参2 単体のサービス別売上高

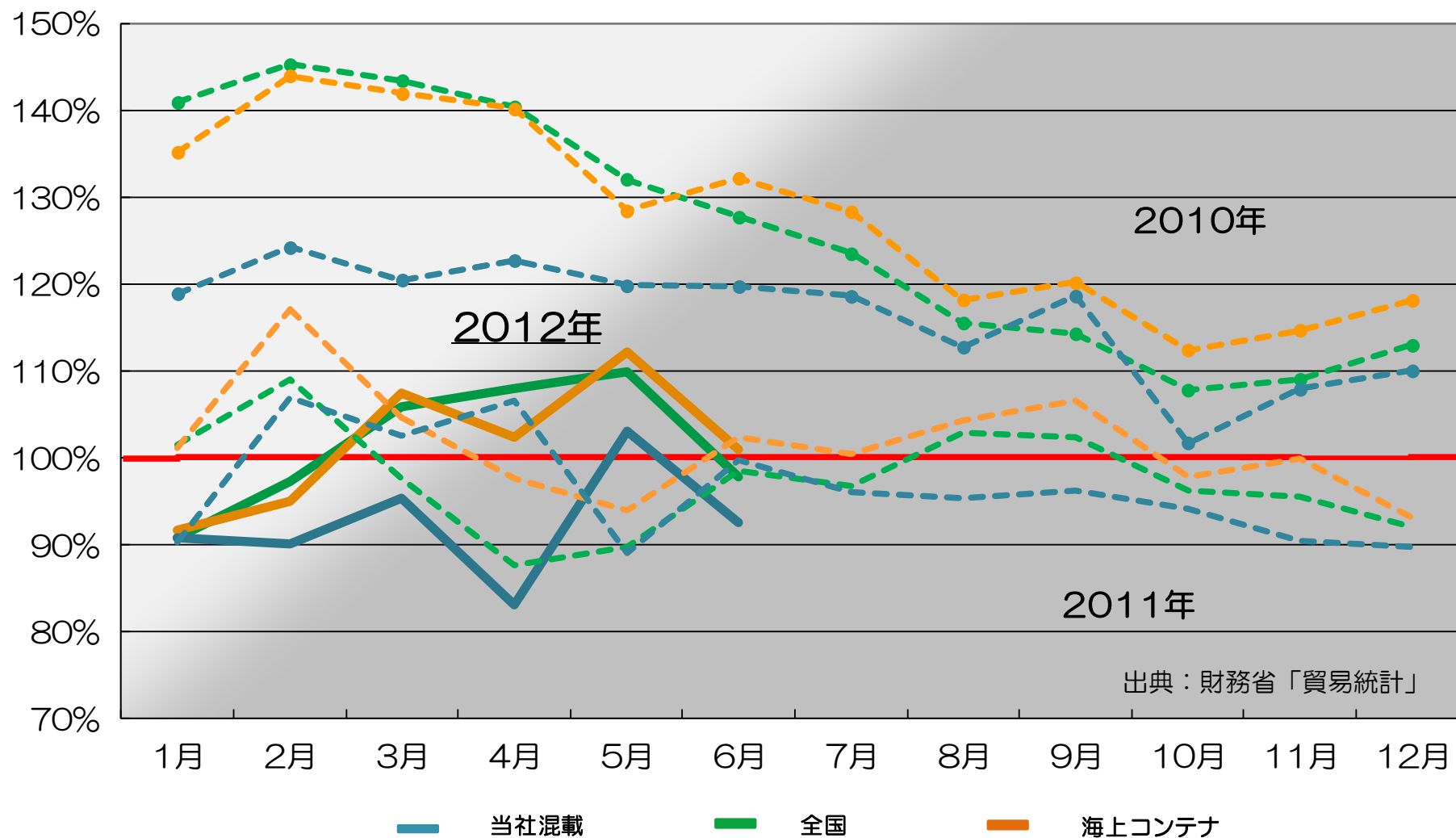
NAIGAI TRANS LINES

金額：百万円 数量：混載 千RT、フル 千TEU

単 体	前年第2四半期		当年第2四半期		増減率 (%)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
【輸出】						
混載	266	2,665	245	2,443	△7.7	△ 8.4
フルコンテナ	10.4	748	11.1	830	6.8	11.0
輸出計	473	3,414	467	3,273	△1.3	△ 4.1
【輸入】						
混載	107	764	113	800	6.4	4.7
フルコンテナ	6.6	260	6.8	296	3.3	14.0
輸入計	239	1,024	250	1,096	4.7	6.7
その他		59		124		110.2
輸出+輸入合計	712	4,497	717	4,492	0.7	△ 0.1

1. 当期よりプロジェクト売上、航空売上等を「その他」として区分したため、前年度もこれに合わせて組替えている。
2. 合計数量については、フルコンテナの売上数量単位「TEU」をトン数に換算して表示した。（1TEU=20トン）
3. 「その他」については数量表示していない。

輸出の月次推移状況（対前年同月比伸び率）

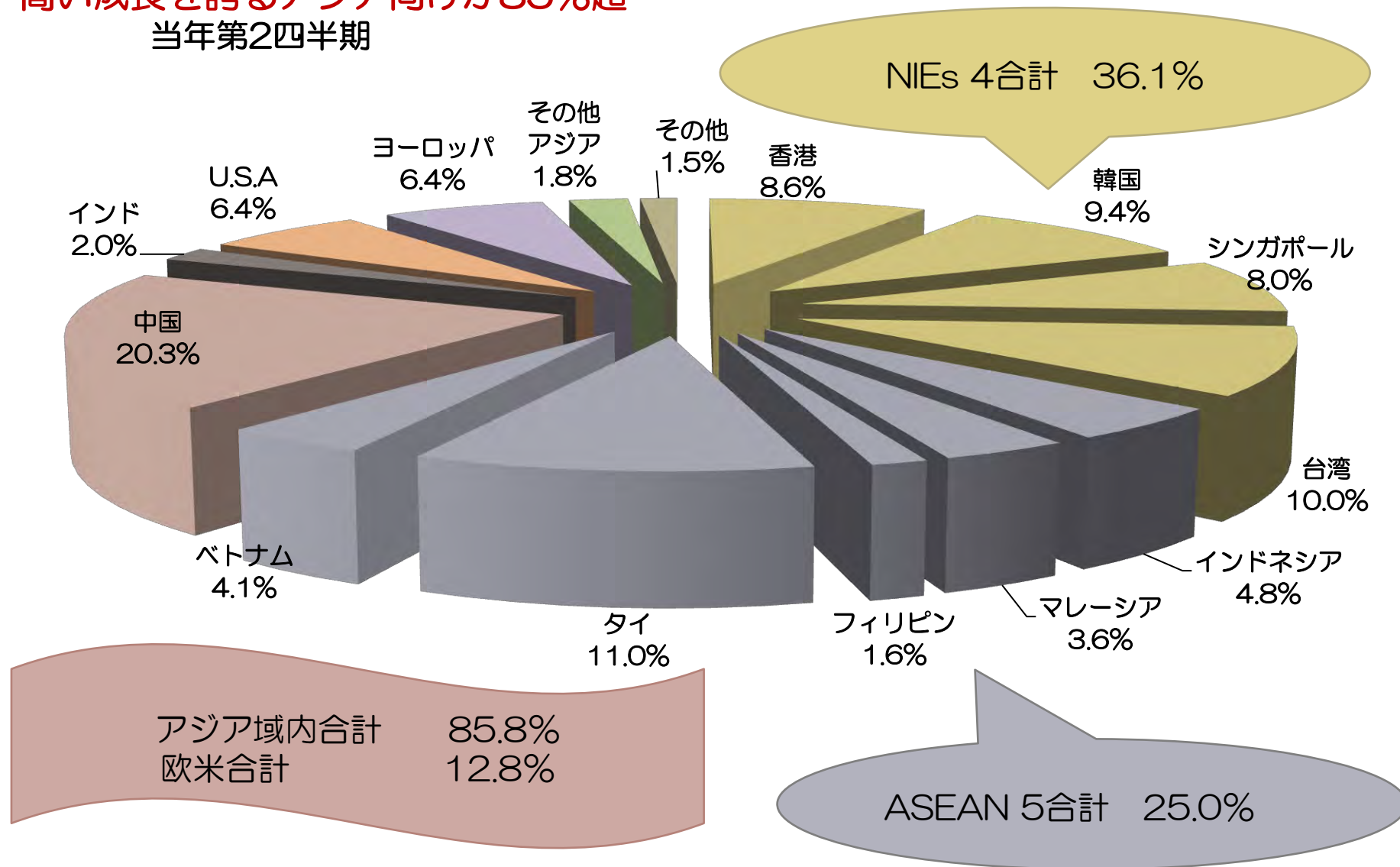


参4 当社輸出混載の仕向地別内訳

NAIGAI TRANS LINES

高い成長を誇るアジア向けが85%超
当年第2四半期

単体



単体

輸入も80%超はアジアから
当年第2四半期

